

生活を支えるライフライン

2019年度上下水道事業の予算が決まりました

水道事業

主な事業

○清和台配水池を建て替えます

震災時でも安全な水をお届けするため、市内にある21か所(28池)の配水池を地震に強い施設に順次建て替えていきます。

現在、すでに耐震性のある池と、これまでに耐震化工事を行った池を合わせると、14池あります。今年度は、昨年度に引き続き清和台配水池(2号池)を建て替えます。清和台配水池からは約5,100世帯に、水を送っています。

○給配水管を入れ替えます

安定した水の供給を続けるために、既存の水道管を新しくしていきます。

配水池から水を送る配水管と、その配水管から分岐して皆様のご家庭に水をお届けする給水管を入れ替えます。錆びやすい配水管を、内面がコーティングされた錆びにくい配水管に入れ替えたり、鉛でできた給水管を漏水しにくい塩化ビニル製のものに替えたりしています。また、配水池と配水池をつなぐ送水管の耐震化工事も行っています。

○防水工事で長寿命化

安全な水を送り続けるために、萩原台配水場内にある2号配水池の屋上防水・外壁塗装工事を実施します。雨等の浸みこみによるコンクリートの劣化や鉄筋の腐食を防ぐことで、配水池本体を保護することになり、長寿命化につながります。

下水道事業

主な事業

○浸水被害低減へ

夏場の台風や近年のゲリラ豪雨などの対策として、未整備箇所などへの新たな雨水管の埋設を進めていきます。また、低地の浸水を防除する雨水ポンプ場の安定的な機能維持を図るため、設備の改築や地震対策に着手します。

○管更生工事で長寿命化

老朽化した污水管(污水を流す下水道管)の破損による道路陥没や、木根の侵入によるつまりを防ぐため、既存の污水管の内側に新たな管を構築する工事(管更生工事)を進めていきます。この工事を行うことで、污水管を新たに設置したのと同等の性能を持たせ、同時に耐震化を図ることができます。

また、万一破損した場合に周辺への影響が大きい污水管について、順次、計画的な点検と調査に着手します。

○污水処理場の維持費を負担

川西市で発生する污水は豊中市の原田終末処理場に流され他の市町の污水と合わせてきれいな水になっています。この処理場の維持費などの一部を負担していますが市単独で施設を持ち処理を行うよりも、複数自治体の処理を一か所で行うことによって敷地や処理にかかる費用を抑えています。